

公式試合記録



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名： 2017年 全国高等学校ホッケー選手権大会

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
13	男子2回戦	平成 29	7	30	13:45	川西町総合運動公園ホッケー競技場	人工芝 (S)

チーム名	試合	4	-	1	チーム名
天理高等学校	(前半	2	-	1)	慶應義塾高等学校
	(後半	2	-	0)	

先発	背番号	氏名	G	Y	R
✓	1 GK	松田 歩			
✓	2	沖原 爽一郎			
✓	3 C	竹林 浩斗			
✓	4	森 紘之			
✓	5	高出 樹			
✓	6	永吉 拳			
✓	7	藤沢 颯人			
9	8	高出 大暉			
✓	9	深見 泰雅			
9	10	小島 歩			
9	11	村井 巧		63	
✓	12	千葉 友貴			
✓	13	濱田 康平			
9	14	辰巳 菜太郎			
✓	15	田村 亮			

先発	背番号	氏名	G	Y	R
✓	1	財津 顕汰郎			
7	2	中村 紘也			
✓	3	福田洗輔			
✓	4	高木 陽貴			
✓	5	高橋 駿			
✓	6 C	村上 慧			
✓	7	岡 慎之介			
✓	8	飯室 隼			
7	9	鳥屋 竜典			
✓	10	中山 正暉			
✓	11	北尾 拓登			
19	12	森翔平		61	
✓	13 GK	小川 慶人			
12	14	辻井 凱武			
✓	15	赤司 大耀			

時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種
20	10	FG										12	9	FG			
33	12	FG															
39	3	FG															
46	3	FG															

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順番	守備者	先・後	S	先・後	守備者	順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
										No.			戦			No.										
										O/X						O/X										

5	4	3	2	1	S0	6	5	4	3	2	1	チャレンジ権	1	2	3	4	5	6	S0	1	2	3	4	5
					戦							O/X							戦					

監督 松尾 信之
 アンパイア 栗原 崇
 Rアンパイア 佐野 将升
 Sアンパイア
 Sアンパイア

監督 末木 孝典
 アンパイア 岩崎 誠
 ジャッジ 柴田 良朗
 ジャッジ 吉永 忠司
 T O 及川 美代子

公式試合記録【戦評】



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名: 2017年 全国高等学校ホッケー選手権大会

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
13	男子2回戦	平成 29	7	30	13:45	川西町総合運動公園ホッケー競技場	人工芝 (S)

チーム名

天理高等学校

試 合	4	-	1
(前半)	2	-	1
(後半)	2	-	0

チーム名

慶應義塾高等学校

先発	背番号	氏 名	G	Y	R
1	✓	1 GK	松田 歩		
2	✓	2	沖原 爽一郎		
3	✓	3 C	竹林 浩斗		
4	✓	4	森 紘之		
5	✓	5	高出 樹		
6	✓	6	永吉 拳		
7	✓	7	藤沢 颯人		
8		9	高出 大暉		
9	✓	9	深見 泰雅		
10		9	10 小島 歩		
11		9	11 村井 巧		63
12	✓	12	千葉 友貴		
13	✓	13	濱田 康平		
14		9	14 辰巳 栞太郎		
15	✓	15	田村 亮		

先発	背番号	氏 名	G	Y	R
1	✓	1 GK	財津 颯汰郎		
2	7	2	中村 紘也		
3	✓	3	森 翔平		
4	✓	4	高木 陽貴		
5	✓	5	高橋 駿		
6	✓	6 C	村上 慧		
7	✓	7	岡 慎之介		
8	✓	8	飯室 隼		
9		7	9 鳥屋 竜典		
10	✓	10	中山 正暉		
11	✓	11	北尾 拓登		
12		19	12 小松 英之		61
13	✓	13 GK	小川 慶人		
14		12	14 辻井 凱武		
15	✓	15	赤司 大耀		

ゴール	PS	PC	シュート		シュート	PC	PS	ゴール
2	0	2	13	前 半	3	0	0	1
2	0	2	10	後 半	3	2	0	0
				S O				
4	0	4	23	合 計	6	2	0	1

【戦評】

慶應義塾高校のセンターパスにより試合が開始。開始早々天理高校が猛攻を仕掛ける。天理3番が左サイドからドリブルで切り込みリバースシュートを放つが相手DFに阻まれる。12分慶應義塾高校ライトからのパスが9番鳥屋選手に当たりタッチシュートで得点する。その後、前半20分、レフトサイドからのパスをキーパー前で#10が合わせて1-1となり慶應義塾高校に迫っていく。その後天理高校は連続でPCを獲るが、キーパーの好セーブの連続により阻まれてしまう。前半33分、サークル前でパスを受けた天理高校#12、一度はシュートを止められるもののリバウンドを冷静に処理し、2-1と慶應義塾高校を追い越し前半が終了した。

後半が始まり、積極的な攻めを見せる天理高校は後半4分、#3がゴール前での混戦の中シュートを決める。その後、後半11分、慶應義塾高校の粘り強いDFをすり抜け、天理高校#3がシュートを決め5-1とするも、慶應義塾高校のDFにより天理高校は前半のような攻撃ができない状況が続く。一方、慶應義塾高校の攻撃は、PCなどチャンスを作るも、GKにより阻まれる。後半は両者譲らず、4-1で天理高校が勝利した。